

課題名：大規模臨床試験でエビデンスを確立したスマートフォン認知行動療法アプリをスケールアップし 国民のレジリエンスを向上させるサービスの社会実装開発研究（TASSO研究）

代表機関／代表者：京都大学／古川壽亮

分担機関：ライフツービッツ株式会社、株式会社JMDC、統計数理研究所

研究期間：令和7年9月～令和10年3月

研究開発目的

- 社会に広くメンタルヘルスプロモーションを進めるために、すでにエビデンスの備わったスマートフォン認知行動療法アプリをさらに発展させ、介入内容をユーザー個人の特性に応じてAIにより個別最適化して効果を増強したレジトレ！ Version 3.0を開発する。
- 本アプリを社会実装するために、支払者が求める、①参加率の最大化、②継続率の最大化、③職場ごとの個別最適化アルゴリズム開発、④PHRを利用し健康診断結果等との情報統合と活用をかなえたビジネスモデルを確立する。

取り組み

- レジトレ！ Version 3.0を用いて縦断的なユーザの反応に応じて超個別最適化アルゴリズムを探索するBEATRICEプラットフォーム上で
- どのようなインセンティブが参加率を最大化するか、どのような励ましLINEメッセージが継続率を最大化するかを解明し、
- 職場ごとのサブグループで個別最適化AIアルゴリズムを開発する。
- これらの知見に基づき、ビジネスにつながる情報統合と活用を進める。

期待される成果

- 累計導入企業数100社以上累計ユーザ100万人を可能にするレジトレ！商用バージョンとそのビジネスモデルを確立する。
- レジリエンス向上は基本的人権であるという理解が広がる社会を作る。

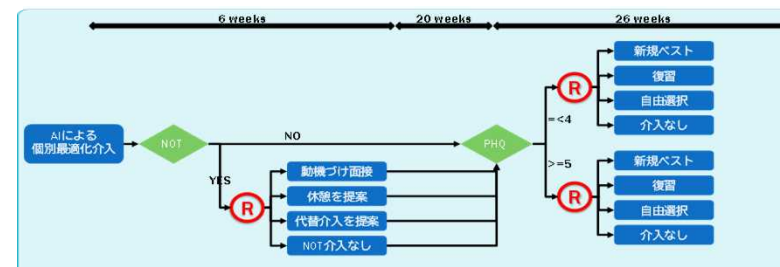
レジトレ！ Version 3.0



レジトレ！ Version 3.0では、ユーザの年齢、性別、性格、CBTスキル、生育歴、教育歴、既往歴、合併症、健康習慣、うつ・不安・不眠症状、社会機能などに応じて、もっとも有効なスキルを割り当てる

プラットフォーム試験

- ① インセンティブ: 3000円、600円、0円のアマゾンギフトで、参加率、継続率、効果を最大化するのは何円かをクラスターランダム化
- ② 励ましLINE: レジリエント試験の完全マニュアル励ましから、省力化で同じ継続率と効果を維持できるかをランダム化



③ 特殊集団ごとに個別最適化アルゴリズムを用意するようにランダム化

④ 職域のデータと統合して、人事で活用できるようにする